

九十九里町地域公共交通計画(素案)に対する意見募集

| 該当箇所 | ご意見 | 回答 |
|--|--|--|
| P60.62 | ご来局される方が、片貝タクシー様の運行でお越しになる際、お待ちいただいたほうが良いのか、再度また要請したほうが、経済的負担が少ないのか判断に迷う時がある。荷物の発送、相続の手続き等の案件により所要時間は大きくかわるので、利用者の方に合理的な運用に寄与したいと考えている。 | タクシーの具体的な活用方法に関するご意見と理解しました、計画書に記載の通り、タクシーを含め種々の外出手段を今後検討してまいります。取り組みの具体的な実施方法等は、計画期間において検討することとなりますので、いただきましたご意見は、その際の参考とさせていただきます。 |
| | 要望として、町長とバス会社、タクシー会社の社長と第二層協議体のメンバーと町民の意見、要望を聞いてほしいと考えます。 町内を循環できるマイクロバスの運行を考えてほしい(料金的にはゼロが100円位) | 意見交換等の具体的な実施方法に関するご意見と理解しました。計画書に記載しているとおおり、定期的に町民との意見交換会を実施していきます。その際の参考とさせていただきます。 また計画書に記載の通り、マイクロバスに限らず、種々の外出手段について、検討してまいります。取り組みの具体的な実施方法等は、計画期間において検討することとなりますので、いただきましたご意見は、その際の参考とさせていただきます。 |
| 町内及び東金市内 | 買い物、病院等の週三回位の巡回バスを使用したいと思います。 | ご興味、関心をお持ちいただきましてありがとうございます。 バスを利用いただける方を増やすために、更に周知を行っていきたくと考えております。計画書に記載の通り、種々の外出手段について、計画期間において具体的に検討することとなります。いただきましたご意見は、その際の参考とさせていただきます。 |
| | 現在の大型路線バスは非効率であるため、小型バスに変更し、巡回バスとして運行し、便数を増やす。停留所から次の停留所までの間であれば、手を上げれば停車可能とし、乗りやすい路線バスに変えること。乗り合いタクシーは作田地区豊海地区で実施し、東金市、山武市、大網白里市まで乗車できるようにすること。今後は各地区での説明会や進捗状況など住民の意見を丁寧に聞きながら進めてください | バスの車両や乗合タクシーの具体的な運用方法等に関するご意見と理解しました。計画書に記載のとおり、なるべく使いやすいものとなるよう車両や運用方法について検討してまいります。車両については更新時に検討いたします。具体的な運用方法等は、計画期間において検討することとなりますので、いただきましたご意見は、その際の参考とさせていただきます。 また、計画書に記載の通り、今後、行政からの説明会という形ではなく、町民のみなさまと一緒に考える「意見交換会」を計画期間に行ってまいります。 |
| 2. 計画の位置づけ「九十九里町地域公共交通計画」は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づくとともに、本町のまちづくりの最上位計画である総合計画の考え方をふまえた計画であり、各分野の関連計画や取り組みとの連携を図りながら進める計画です(P2) | 第5次総合計画を見ても、俄かにその施行日を知ることはできませんでしたが、総合計画審議会にて2021年2月12日にその内容が妥当と認められていることから、当計画は2021年4月から施行されているものと考えられます。もしそうならば、P3計画の期間より、当総合計画は残すところ本年(2024年)と翌年を合わせた2年間ということになります。これに対して地域公共交通計画(素案)は、2024年2月時点までに改正された国の法規の主旨に沿った項目を含む内容とする必要があるのではないのでしょうか。その意味で、総合計画と同じ比重で、各省庁が提示する新しい指針を取り入れる必要があると思います。(例えば、環境省、農林水産省などが進めている脱炭素化) 別紙 脱炭素化地域と九十九里町第5次総合計画との関連 【13. 気候変動】 3-1. 災害に備える地域づくり 3-3. 自然環境を守る地域づくり 【7. クリーンエネルギー】 3-2. 快適に暮らせる基盤づくり 3-3. 自然環境を守る地域づくり ・考慮する必要があると思われる点 3-2-2. 公共交通の充実に該当する計画が、今回の地域公共交通計画ではないかと思いますが、第5次総合計画策定時には周知されていなかったと思われる脱炭素化地域(SDGsでいうところの7, 8, 9, 11, 12, 13に関連)との連携を計画に加えては如何かと思います。 具体的には、AIを利用したEV車の導入、EV車のエネルギーを地域で確保するための地域電力(発電・配電を含む)の導入、災害時を想定した蓄電設備の導入、およびそれらの事業を地域で行うための地域事業化計画の策定(地域で新たな雇用を生むため)などです。 | 車両や具体的な取り組みに関するご意見と理解しました。計画書に記載の通り、車両更新時に低エネルギー車の導入を検討します。車両のことだけでなく、使える時にはなるべくクルマではなく公共交通を使うことも、脱炭素に寄与するものと考えており、環境部門と連携しながら取り組んでまいります。なお、本計画による取り組みの具体的な実施方法等は、計画期間において検討することとなりますので、いただきましたご意見はその際の参考とさせていただきます。 また、本町のまちづくりの最上位計画である総合計画では安全・安心に快適に暮らすまちづくりとして「公共交通の充実」が位置付けられており、各分野の関連計画や取り組みとの連携を図りながら進めてまいります。 |

九十九里町地域公共交通計画(素案)に対する意見募集

| 該当箇所 | ご意見 | 回答 |
|--------------------------|---|---|
| 全体 | 公共交通は憲法に由来する移動の権利=交通権を保障するものという考え方を基本に考えてほしい | 移動を確保するという主旨を取り組みの方向性の一つとして掲げております。ご意見は今後の参考とさせていただきます。 |
| P70「路線バス・高速バスの状況」 | 人口の8割近くをカバーしていますと言っていますが、新興住宅地では路線バスではカバーできてないと思う。最近ではスーパー、病院に遠い、バス停が近くにない人も多い。町内の横の交通網がない。マイクロバスやタクシーなどが考えられるがバスの乗降客が少ない←→不便 利便性の表裏のものとする。まちづくり 公共交通の利用促進 交通手段の充実 利便性が一体と考えられる。 | ご意見の通り、居住地で人口をみた場合のカバー状況を示したものであり、外出行動をカバーしているかどうかを示すものではありません。本町の公共交通は、利用客の減少とサービス低下の悪循環に陥っている面があり、利便性が高いとはいえな状況です。その一方で、バス等が使える時にもクルマを使う人が多い現状があり、計画書に記載の通り、今後、利便性を向上する取り組みだけでなく、使える時にはなるべく使うようにして頂く取り組みも合わせて進めていく必要があると考えています。その他のご意見も含め、今後の取り組みの参考とさせていただきます。 |
| P71「乗り場等の現地の状況」 | 多数の系統路線があると言っているが、今の路線で多いといえるのか疑問だ。→現状はほとんど乗らないのが大半 →満足度が高くない →外出で困り事等のある人は比較的少ないとしているが、使いにくいから乗らないのも考えられる。このこと自体が困りごとなのかもしれない、と思う。 | あまり知られていませんが、本町のバスには一部のみ経路が違う系統が複数あるなど、わかりにくい面があります。それをわかりやすくPRしていくことも本計画の取り組みの一つとしています。本町の公共交通は、利用客の減少とサービス低下の悪循環に陥っている面があり、利便性が高いとはいえな状況です。その一方で、バス等が使える時にもクルマを使う人が多い現状があり、計画書に記載の通り、今後、利便性を向上する取り組みだけでなく、使える時にはなるべく使うようにして頂く取り組みも合わせて進めていく必要があると考えています。 |
| P72の2「今後に向けた課題・着目点」 | 外出手段を確保 及び 日々の外出の利便性を確保で乗り継ぎ、運行方法について改善要望がある としているが役場、観光地をつなぐ巡回バスなどを考えたかどうかと思う | 運行方法に関するご意見と理解しました。計画書に記載の通り、外出手段の確保に関する種々の方策やまちの賑わいに寄与する方策の可能性について今後検討してまいります。取り組みの具体的な実施方法等は、計画期間において検討することとなりますので、いただきましたご意見はその際の参考とさせていただきます。 |
| P73「クルマしか使わない外出スタイルの見直し」 | 公共交通を利用しない町民が大半であるとしているが、不便だからクルマを使わざるを得ないのであり、また公共交通を利用する意識を醸成するというのではなく、先に便利にすることが求められるのではないか と思う。 | 本町の公共交通は、利用客の減少とサービス低下の悪循環に陥っている面があり、利便性が高いとはいえな状況です。その一方で、バス等が使える時にもクルマを使う人が多い現状があり、計画書に記載の通り、今後、利便性を向上する取り組みだけでなく、使える時にはなるべく使うようにして頂く取り組みも合わせて進めていく必要があると考えています。 |
| P73「観光・まちの賑わい」 | 町の賑わいなどを考えるのであれば、統廃合による小学校をイベントや部屋の貸し出しなども考慮されていいのではないか。話し合いの場を若い人(学生とか)にまかせて考えてもらう方がいいのではないか。 | まちの賑わいに向けて、公共交通以外の分野も含めた取り組みが必要とご意見と理解しました。本計画に限らず、関連部門と連携しながら取り組んでまいります。いただきましたご意見は今後の取り組みの参考とさせていただきます。 |
| P75「使ってみたくなく利用環境をつくる」 | 分かりやすさが大事だと思う。高齢者は町のホームページなどのお知らせだけでは理解がムリ、行政側がひとり一人に丁寧に説明するくらいの姿勢がほしい。クルマだけでなく少しでも公共交通を考えるようにすること。クルマしか使わない行動スタイルを見直すとしているが、使わないではなく他の手段がないのであって、ひとり一人が使いやすくなるのが求められると思う。タクシー代が高いから毎日は使えないなど切実な問題と思う | 計画書に記載の通り、高齢者等にもわかりやすい方法による情報案内や地域に向いての会合等に取り組んでまいります。具体的な実施方法等は、計画期間において検討することとなりますので、いただきましたご意見はその際の参考とさせていただきます。本町の公共交通は、利用客の減少とサービス低下の悪循環に陥っている面があり、利便性が高いとはいえな状況です。その一方で、バス等が使える時にもクルマを使う人が多い現状があり、計画書に記載の通り、今後、利便性を向上する取り組みだけでなく、使える時にはなるべく使うようにして頂く取り組みも合わせて進めていく必要があると考えています。 |
| P75「まちの賑わいに貢献する方策」 | 周遊・回遊するためのコースを設置する。 例えば伊能忠敬公園、大村屋、智恵子抄、海の駅などをつなぐとか。 | 運行方法に関するご意見と理解しました。計画書に記載の通り、外出手段の確保に関する種々の方策やまちの賑わいに寄与する方策の可能性について今後検討してまいります。取り組みの具体的な実施方法等は、計画期間において検討することとなりますので、いただきましたご意見はその際の参考とさせていただきます。 |
| P77.87 方向性4 | 意識の変容を促しますと表示しているがこの言い方は、上から目線になっている。利用する意識を持てるように考えていきます のような表現が良いのではないか | 本町の公共交通は、利用客の減少とサービス低下の悪循環に陥っている面があり、利便性が高いとはいえな状況です。その一方で、バス等が使える時にもクルマを使う人が多い現状があり、計画書に記載の通り、今後、利便性を向上する取り組みだけでなく、使える時にはなるべく使うようにして頂く取り組みも合わせて進めていく必要があると考えています。計画書の表現等につきまして参考とさせていただきます。 |

九十九里町地域公共交通計画(素案)に対する意見募集

| 該当箇所 | ご意見 | 回答 |
|-------------|--|--|
| P81 取り組み2-1 | <p>お出かけサービスでタクシーの相乗り、住民ボランティアによる送迎などと言っているが、住民ボランティアについては事故の責任を考えると慎重に考える必要があると思う。</p> <p>国ではライドシェアがクローズアップされているが、すでにやっている外国では事故や事件が問題になっており、これについても安易にやるべきではないと思う。</p> | <p>具体的な運用方法やサービスの方策については、計画期間において、運行事業者や関係者と調整しながら、ご意見のありました安全面にも十分留意し検討してまいります。</p> |
| | <p>まず、とても低レベルなことから指摘しなければなりません。</p> <p>なぜ文字検索が出来ないようなPDFファイルを「わざわざ作って」配布するのですか？</p> <p>悪意があるとは思えません。「モビリティ」で検索しても、ヒットしない。他の単語も一切ヒットしない。文字情報がこのPDFには埋め込まれていないのでしょう。わざわざ画像に変換して検索されにくくしてあり、あっけにとられてしまいました。Google Chrome、FireFoxでPDF表示して文字検索したが、検索できませんでした。</p> <p>素案とのことですが「現状維持」としか思えない内容です。これで未来を語っていると、言って欲しくはありません。次案で、ぜひ魅力的な内容に直ることを切に期待します。</p> <p>町民に「クルマしか使わない外出スタイルの見直し」を求める?! 九十九里町役場の裏には自家用車がたくさん停まっています。役場のみなさんも、通勤でバスを使っているのではないでしょう。もはや、これで解決できるとは思えません。</p> <p>ライドシェアをすぐにでも導入することを提案します。自家用車が多く、お年寄りも多い町なのだからバスをどうこうよりも、ライドシェアによる、町民同士の助け合いを町が仕組み化するほうが現実的です。タクシーは片貝タクシー1社なのだから、調整先は少ないでしょう。町が本気を出すか否か、ではないでしょうか。</p> <p>バス路線についてです。ハヤシが撤退して、九十九里町にスーパーはランドロームしか無くなりました。なのに、ランドローム前の通りにバスが走らないことに、課題を設定しないのはなぜですか？ 現状分析だけ、で終わっています。それで未来に繋がる、と言えるのですか？ 人が日々、最も使う商店はスーパーマーケットでは無いのですか？ 役場の皆さんも、スーパーに食材を買うことが最も多いのでは無いのですか？ ぜひ、ここに課題設定をしていただきたいです。</p> <p>クルマが便利に決まっています。</p> <p>けど、バスも大事。限られたリソースをいかに効率的に、効果的に使うか、で考え直してください。無駄な物は、すぱっと止める。痛みを伴うけど、止める判断をするのが、町長を始め、偉い人の役割でしょう。ガラガラのバスを見かける度に、心が痛みます。バスは小型化していいのでは？ やれることはいっぱいある。けど、課題設定が救いがたいくらいにとんちんかんです。</p> <p>今年の異常な暖冬で、地球温暖化が本当に差し迫った問題だ、ということに気がついた町民は多いと思います。温暖化と交通問題は密接にリンクしています。町も本気になりませんか？</p> | <p>町民の皆様への公表の方法については検討いたします。</p> <p>本町の公共交通は何れもきわめて厳しい運営にあるため、将来にわたり持続することを今後めざす方向性の1つとしました。今後も人口減少等による厳しい状況が見込まれるなか、公共交通を持続的に運行するだけでなく、地域の実情に応じた方策を検討しながら、他の方向性に掲げたように、外出手段を確保しお出かけを便利にする取り組み、わかりやすさ・やさしさを充実する取り組み、少しずつでも公共交通のことを考える取り組み、まちの賑わいに貢献する取り組みを行っていくこととしました。なお計画書に記載の通り、計画期間においても定期的にチェックを行い、状況に応じて見直しを行うこともあります。</p> <p>計画書に記載の通り、外出手段の確保や利便性の向上の具体的な方策については、計画期間において実施方法を検討します。また、現行のバス、タクシーを維持し活用することも考えていきます。いただきましたライドシェア等のご意見は検討の際の参考とさせていただきます。</p> <p>ご意見のありましたスーパーに限らずバス等で行くことができない場所がある現状は認識しており、計画書に記載の「町民の外出手段の効率的な確保」の取り組みの中で、バスに限らず種々の手段の活用を検討し取り組んでいきます。</p> |

九十九里町地域公共交通計画(素案)に対する意見募集

| 該当箇所 | ご意見 | 回答 |
|------|---|---|
| | <p>バスを使って遊び(東京方面・千葉に行った時、東金駅から不動堂方面でかえってから乗るバスの夕方の本数が無い時もある。1時間か2時間待つので以前つらかった)バスの帰り時間が合っていればこれから使いたい</p> | <p>計画書に記載の通り、バスと鉄道の乗り継ぎや他の手段の活用など、市外への外出が便利でわかりやすくなるように取り組んでまいります。いただいたご意見は計画期間における検討の参考とさせていただきます。</p> |
| | <p>公共交通機関を維持していくことには賛成ですが、中で自動運転について検討されていませので、今後は検討していくべきと思います。また、町総合計画と併せ他の事業と齟齬がないよう、無駄がないように進めていただきたいです。</p> <p>以下、町に対する意見となります。</p> <p>今、九十九里町が何より一番に考えなければいけないことは、町の人口減少を遅らせる事です。事業を行い一時的に便利になっても、後に負債が多大に残れば、町の魅力、活力は衰え結果人口は減ることとなります。特に小学校の統廃合については、総合計画に乗っていないなか統合ありきで既に進められています。統合した後10年たらずに小学校が今の各小学校程度しかいなくなるし、中学校が後29年しか使えないと言っていたが、逆に考えればまだ29年も使える物を建て替えると言っています。29年後にどれだけの中学生がいるのか説明もありません。中学校については、今の中学校を使い続ける、小学校については、まだ新しい豊海小学校を使用する等、これからの世代にできるだけ負担の少ない方法を検討するべきではないでしょうか。国からの補助があるとは言え、その大部分は町の借金で賄うこととなります。町に借金ばかりだと、住民税は高くなり、公共サービスは低下します。駅もない町にバスだけ維持しても、借金だらけの町に高校を卒業した若者が、借金を返済するために町に残ってくれるとは思いません、移住者にも当然魅力的には映らないと思われ、更に人口減に拍車がかかることになると思います。公共交通機関の今後についても、あった方が良いのはわかりますが、本当に必要かどうかを考え検討する必要があります。不採算では、結局継続できなくなります。利用者の意見は大切ですが、最も大切なのは、これからの世代の意見だと思います。高齢者の意見を採用することは町の将来のためにはなりません。未来の計画を立てるのに今からせいぜい数年先しか見ない高齢者の意見を採用する必要ありません。女川町は、震災後町の復興に高齢者の意見を採用せず、今までどおりにしなかったことで成功しています。防災対策も何もかも理想はありますが理想の実現にはお金がかかります。かかったお金は全てこれかたの世代の借金となります。借金をすれな少なからず利払いも発生し、ますます町の財政を悪化させます。現実を見つめるべきです。散居村の自治体で、全ての住民に完全に平等なサービスは不可能です。諦めというか開き直りというかそれが現実だと思います。九十九里町は、合併することを選ばなかったのだから、単独で持続できる自治体を目指し人口の減少を少しでも緩和するために、高齢者の住みやすい町ではなく、若者が生きていける、住む気になる町を目指すべきだと思います。</p> | <p>本計画の取り組みの中で、自動運転など将来的な導入の可能性のある技術の動向については継続的に情報収集を行うこととしております。</p> <p>町に対していただいたご意見は、まちづくり全般に関するご意見と理解し、今後の参考とさせていただきます。</p> |